

第2分科会 第2分散会

「心とからだの健康づくり」

共同研究者 社会福祉法人双葉会 双葉会診療所  
院長 片倉 和彦  
助言者 聴力障害者情報文化センター  
森 せい子  
司会者 まごころの家 小川 吉美  
ふれあいの里どんぐり 佐々木 いずみ

・レポート発表

① 「健康づくりのために」予防の観点から  
たましろの郷 看護師 橋本 めぐみ  
キーワード：健診 早期発見 連携

【まとめ】

・なかまの水虫対策 勉強会開催(職員も仲間も)  
・たましろの郷の発表では健康対策についての取り組みがいくつかあり、その中で、仲間の水虫撲滅のための学習会や受診の徹底、それから残存聴力活用のための耳の清潔対策や補聴器のメンテナンス・活用の積極的な取り組みが印象的であった。

② 「食事制限が必要な入居者の生活支援とかわり方」

特別養護老人ホーム淡路  
ふくろうの郷 生活援助員 堀田 喜子

管理栄養士 秦奈津子

キーワード：食事制限・入居者本人の意思

【まとめ】

・慢性心不全の利用者が食事制限に対して限界を感じた時の対応法を考える  
→心のケアに合わせて気持ちが少しでも落ち着くような支援を行う。  
→「慢性心不全」の意味や勉強会を開く  
ふくろうの郷からは、透析治療中や慢性腎不全の入居者に対する食事制限と本人の意思の尊重の間で、本人が「おいしいと感じること」を大切にしたい支援に取り組む様子が伺えた。

③ 「今まで通り元気に生活する」

特別養護老人ホーム  
いこいの村・梅の木寮 西岡 あおい  
キーワード：意思決定 ターミナル 連携 認知症

【まとめ】

対象入居者とその配偶者との人間関係や実際の言動(手話)の奥に隠された真意をさぐりながら、懸命に寄り添う支援(食事に関する制限からプレッシャーを感じさせないような工夫、終末期の本人の望む過ごし方(夫婦で思い出の場所で大好きな食べ物を味わいたいなど、本人の自己決定を尊重した支援計画)の状況が伝わってきた。また、Aさんの家族は認知症の妻と高齢の弟しかいない環境なので、職員・現場・他部署・病院と連携をきちんと取っていくことが大事とのことが感じられました。

●その他

・片倉研修者から糖尿病について詳しく分かりやすいDVD映像を見せてくれる。  
・森助言者が実績報告書(生活知識が低いため、定期的に訪問管理)のDVD映像を公開してくれる。  
2つのDVDもそれぞれ本人も出ているのでとても分かり易かった。  
・ろう職員が1人だけ働いている施設でコミュニケーションの壁を感じている悩みを持ちだされる。特に病気の内容や利用者の本心を健聴者や病院に

伝えることが難しいとのこと。